

合格体験記 早田（岡田）直子

今回、2次筆記試験3回目のチャレンジで何とか合格することができました。  
私は、日々の答練や演習、模試の成績は良いものの当日結果が出せませんでした。恐らくこの現象は、珍しいことではなく、同じような方が多くいると思います。私は、不合格時、どうしていいかわからなくなるぐらい本当に落ち込みました。  
この体験記が、私と同じような体験をした方を含めこれから合格を目指す方々の参考になれば幸いです。

### <受験歴>

2016年 1次試験科目受験で科目合格（中途半端な時期に勉強をはじめたため）  
2017年 1次試験合格 2次試験不合格（CBBB）  
2018年 2次試験不合格（BABB）  
2019年 1次試験合格 2次試験合格（成績は取り寄せ中）

### <1年目の不合格・MMCを選んだきっかけ>

1年目（2016年・2017年）大手予備校に通学。  
2次試験の勉強は、いわゆる予備校のメソッドに沿って、設問文・与件文の読み方、与件文へのマーカーの入れ方、一次試験のセオリーの押さえ方など・・・80分の試験の中で多くの工程をこなす解き方を訓練しました。

大手予備校に通いながらも、MMCの模試は受験していました。

・事例Ⅳの難易度の高さに困惑

・MMCの解答が当時の予備校と全然違う（笑） が当時の印象でした。

その中で、私がMMCに入るきっかけになったのは、

・4回目の模試での中居先生からのアドバイス返却

・MMCに通っていた方々の合格率の高さ でした。

中居先生のアドバイス返却は、とてもシンプルでした。

・理由を聞かれたら、「理由は～」で回答すると相手に伝わる。

・市場を聞かれていれば、「●●市場」で答える。

こう書いてしまうと、そんな当たり前のことが出来ていなかったのかと思われてしまうのですが、私の解答は、書きたいことが増えていき、最終的に基本的な言葉が抜ける、結果相手に伝えたいことが伝わりづらい文章になっていました。

当時、中居先生が2つ並んだ会議室の机を突然離し、「岡田さんの考えは、自分でちゃんと分かっているけど採点者まで届いていないんだよ」と机と机の間に空いた溝を指されて衝撃的でした。笑 そして、ここまで他の予備校に通っている受験生に熱くアドバイスをくださったことがとても印象的でした。

また、当時の2次試験後の合格者数が3割強と伺い、周りのMMC受講者が実際に合格をしていたので、これも受講する大きなきっかけになりました。

### <2年目での不合格>

2年目は、通学コースを受講しました。衝撃を受けたのは、大手予備校と違い、細かい事例を解くお作法がなかったことです。ただ、すぐに気づいたことは、

・与件をこねくり回して出した答えと初めから切り口を想定して出した答えが意外と変わらない。

→だったら、初めからある程度想定して事例に臨むと80分安心して考えられる。

・誰が見ても、その設問に答えている（日本語として）

→聞かれたことに答えている。（意外と聞かれた設問の答えではない内容を字数の半分以上使うということがあるのですが、それがMMCはない）

・事例Ⅳの練習問題の精度が高い

→5月のGWの事例Ⅳ特訓講座は、他予備校の受験生の間でもとても有名。

です。私は、とても楽しくMMCの型を身に着けていくことができ、早々に答練でも高得点をとれるようになりました。

ただ、やればやるだけ点数が取れることが楽しくなり、一度中居先生に「一度勉強のペースを落としましょう」と夏頃に言われたのを覚えています。

徳川先生にも同じように、点数を取りにいくあまり5つも6つも書こうとするとこじれる、とアドバイスをもらったのですが、、、結果、この欲張り感で答案がこじれたことが2次試験の敗因だったと思います。

### <3年目での合格>

3年目は、1次試験もあり、また仕事が忙しい年でもありほぼ2次試験の勉強はできませ

んでした。ただ、徳川先生から出されたテーマは「勉強はしない。欲張らない。」  
でしたので、定期的に模試だけを受けて、事例の感覚を忘れないようにしました。  
アドバイス返却でも、その時の悩み(勉強の話でなく仕事の話なども笑)を徳川先生と話し、  
どちらかという定期的に先生に会いに行っている感覚でした。このやり取りで、本来の  
MMCの型に自分の解答が戻っていった気がします。

試験当日は、会場に到着して緊張と不安がやはり押し寄せてきました。会場で、中居先生  
と中矢先生を見つけた時には、ほっとして泣きそうになりました。笑

先生方に「いつもの演習を受ける感覚で良いんだから。いつもどおりに」と声をかけてい  
ただき、気持ちがとても落ち着き、MMCの模試を受ける感覚で1日を過ごすことができました。

### <最後に>

2次試験は、本当に運もあると思っています。(これを言ってしまうと元も子もないです  
が)ただ、MMCの先生方はそれも含めこの試験の難しさを知り、実体験として持たれてい  
る先生方も多く、その上で我々と向き合ってくれるため、合格するまで頑張ってみよう!診  
断士になることを諦めないで続けよう!という気持ちになりました。

私の家族は、夫も昨年MMCで合格し、夫婦でお世話になりました。昨年、合格体験記を  
書いた夫の内容を見ると、「最終的にこの妻はどうだったんだ」という疑問を持たせたまま  
終わっていたので、その答えを今年きちんと報告出来てよかったです。

診断士試験は、自分だけではなく家族の協力も必要になってきますが、夫の思いをいつも  
徳川先生が汲み取ってくださっていたので、それについてもこの場でお礼を言わせてくだ  
さい。先生方、本当にありがとうございました。